



略歴

- ✓ 岐阜大学応用生物科学部の植物病理学研究室で学士と修士の学位を取得し、博士課程では岐阜大学連合大学院の植物ゲノム科学研究室で博士の学位を取得しました。
- ✓ 博士課程在学中に岐阜大学イノベーション創出若手人材養成プログラムでドイツのイエナ大学に3ヶ月間の学外研修をしました。
- ✓ その後、現在所属しております岐阜大学流域圏科学研究センターの菌類生態学研究室で、農林水産省委託研究プロジェクトのポスドク研究員、2020年からは助教となり現在に至っております。

研究面では

- ✓ 学士と修士課程では、植物生育促進菌類による気孔開度の制御と植物病原細菌の侵入抑制に関する研究とともにトマト褐色根腐病菌 Type1 と Type2 に特異的な LAMP 法による検出技術を開発しました。
- ✓ 博士課程の研究では、過酸化水素処理が誘導する植物の転写制御とストレス応答について研究をしました。
- ✓ 流域圏科学研究センターでは、輸入植物検疫のための *Phytophthora* 属菌データベースの整備、LAMP 法による検出技術の開発、検出マニュアルの作成に取り組みました。
- ✓ 現在は、*Phytophthora* 属菌の生態に関する研究を精力的に進めておられます。

今回の受賞はこのうち土壌伝染性のトマト褐色根腐病菌および *Phytophthora* 属菌の検出に関する研究が対象となっております。